

池田市とウォンバット

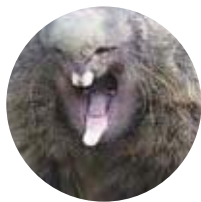
10月4日、五月山動物園においては3回目となるウォンバット来園の日。同園の人気者・フクのお嫁さん、そしてカップル1組の計3頭が新たにオーストラリアからやってきました。10年ぶりに迎えたこの日までの道のりは長く、さまざまな人の協力を得てやっと、新たなウォンバットの受け入れが叶いました。



「私
でよ
ければ」



「僕と一緒
に
なろう」



歯

ネズミ、リスのような鋭い歯。生涯伸び続けるので、堅い樹皮や植物をかじることで、ちょうどいい長さに保たれています。

ウォンバット



おしり

ほぼ軟骨の硬いおしり。「頭隠して尻隠さず」で、敵が襲ってきた時にはおしりで巣穴の天井にぶつけて撃退。また、転がりにくい四角いフンをし、縄張りを示します。



おなか

おなかには子どもを育てるための袋がついています。穴を掘る時に土が入らないよう、後ろ向きになっているのが特徴。



ウォンバットとは？

オーストラリア南東部およびタスマニア島の丘陵地に穴を掘って巣を作り、生息しています。コアラなどと同じ有袋類の草食動物で、繁殖期以外は単独で生活。夜行性なので視力は良くありませんが、鋭い嗅覚を持っています。普段は内またでソソソと歩きますが、走ると速いという意外性もあります。

前足

平べったい頑丈な足と、スコップのような鋭い爪で、巣穴や餌のあるところまで続くトンネルなどを掘ります。

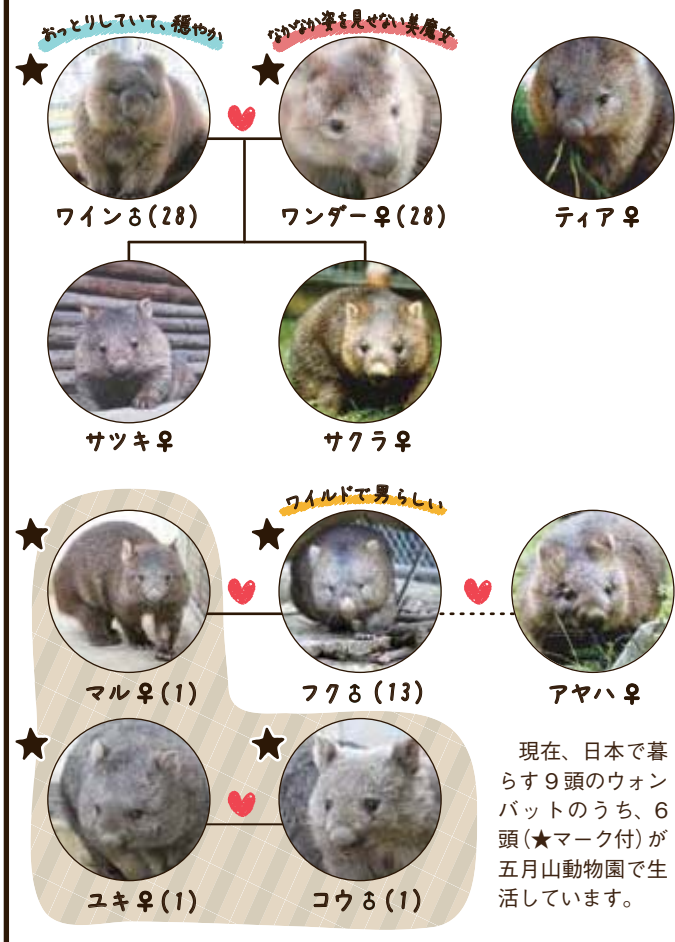


「ずんぐりむっくり」で愛らしいウォンバットが、10年ぶりに来園

10月5日午前11時、五月山動物園にて、前日に到着したウォンバットの姿が関係者にも公開されました。本市との姉妹都市提携50周年を記念して来日した、オーストラリア・ローンセストン市の市長を始めとする訪問団に、ウォンバットを連れてきてくれたオーストラリアの動物園園長、倉田市長と特別に招待された園児たち、そして報道のカメラが数台。登場を待ちわびる中、飼育員さんに抱っこされて現れたのは、繁殖が期待されるフクのお嫁さん。「かわいいー！」という子どもたちの声が続々と聞こえてきました。もう2頭は到着後すぐ巣穴に潜ってしまったが、フクのお嫁さんは獣舎を走り回る、元気な姿を見せてくれました。

昭和40年に姉妹都市となったローンセストン市から、提携25周年目の平成2年に友好の証、動物親善大使として、初めて本市へウォンバットがやってきました。今回10年ぶり、3度目の来園に至ったのは、ワインとワンダーの高齢化からウォンバットの存続が危ぶまれていたためです。今やまちを歩けばベンチやポストの上に銅像を見かけるなど、すっかり本市のシンボルとして定着しているウォンバット。その姿を未来へつなげるため、繁殖をめざしてフクのお嫁さんと呼ばうというところから、さまざまな活動が始まりました。

ウォンバット相関図



本市におけるウォンバットの歴史

- 平成 2 年** ウォンバット初来園
ワイン・ワンダー・ティアの3頭が
ローンセストン市との姉妹都市提携 25 周年を
記念し、友好の証としてやってきました
- 日本初**
- 平成 4 年** 日本で初めて繁殖に成功し(オーストラリア国
外としても初)、サツキが誕生
- 平成 5 年** 続いてサクラが誕生
- 平成 19 年** フク・アヤハがペアで来園
- 平成 29 年** フクのお嫁さん・マルとカップル(コウ・ユキ)
1組の計3頭が来園

スマートフォンをかざしてフクとお嫁さんの様子を見てみよう!

※動画の閲覧は11月30日(木)までです。



▲獣舎はガラス張りになり、ウォンバットの様子が見やすくなりました。音が中に届きにくいので近くまで来てくれて、ガラスに手を付けて立ち上がる姿も見られます。

新しい仲間を迎えるに当たり課題となったのが、輸送などにかかる費用です。そこで、支援を呼びかけるための「アイドルグループ『Keep Girls(キーパーガールズ)』」を誕生させたのが五月山動物園の副園長・瀬島さん。最初は厳しい声もあった中、ウォンバットの魅力を歌やダンス、SNSなどで一生懸命に伝える彼女たちの姿を見て、次第に応援しようという人の輪が広がっていったそうです。約1年で目標の500万円に近づいたところで、五月山動物園としては「もう1組カップルを呼んで繁殖の可能性を増やしたい」と、オーストラリアの動物園に交渉。「6頭が快適に過ごせる環境を整えること」を条件に承諾を取り付けました。新たに獣舎の改修費用が必要となった五月山動物園は、「ウォンバットを未来へつなぐ寄付」と題し、ふるさと納税による寄付を募りました。この運動が市民はもちろん、ウォンバットを愛する人々へと広がり、今年1月には寄付金総額が1500万円を突破。獣舎のリニューアルを経て無事、ウォンバット来園の日を迎えました。



▲今後も五月山動物園公式 PR アイドルユニットとして、ウォンバットたちの魅力を発信していきます

アイドルが支援を呼びかけ
ふるさと納税による寄付を募る

ウォンバットを未来へつなぐため
もっと愛が溢れる動物園へ

来園が決まったのには、もう1つ大きなポイントがあります。ウォンバットを送り出してくれたオーストラリアの動物園園長が昨年6月に本市を訪れた際、「2頭が27年間生活していることこそ、五月山動物園がウォンバットの生息に最適であることの証明だ」という言葉をかけてくれたのです。飼育下にあるウォンバットの寿命は約20年と言われている中、飼育員さん、そして訪れる人々からの温もりに包まれた「世界一♡のある動物園」はウォンバットにとっても住み良い空間のようです。

今後はもっとウォンバットと触れ合える企画を計画しており、ゆくゆくは「オーストラリア」をテーマに動物を集めた、新しい動物園の増設が夢だと話す瀬島さん。赤ちゃんの誕生をはじめ、これからがますます楽しみです。秋の紅葉も美しい五月山で、元気なウォンバットたちが待っています。

愛称決定!!

新しくやってきた3頭の名前は
たくさんの候補の中から
●フクのお嫁さん…**マル**
●オス…**コウ** ●メス…**ユキ**
に決定しました。

五月山動物園

【時間】午前9時15分～午後4時45分
【休園日】火曜日(祝日の場合は翌平日)
【入園料】無料(乗馬体験や餌は有料)
毎月のイベント情報はお知らせページに掲載しています(13ページ参照)